

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 02-176968

(43)Date of publication of application : 10.07.1990

(51)Int.Cl.

G06F 15/22

(21)Application number : 63-332100

(71)Applicant : SORD COMPUT CORP

(22)Date of filing : 28.12.1988

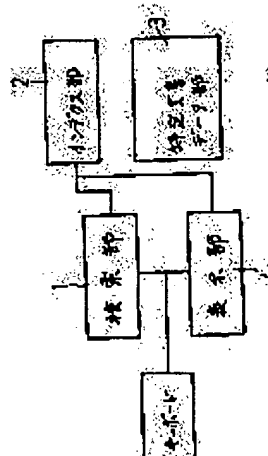
(72)Inventor : KATO YOICHI

## (54) PERSONAL COMPUTER FOR SIMPLE LANGUAGE PROCESSING

## (57)Abstract:

PURPOSE: To improve the operability of the personal computer by storing a specific document data part with guide explanation documents as many as menu bars and displaying a guide explanation document of a command on a display part.

CONSTITUTION: This personal computer is equipped with the specific document data part 3 for storing the specific document data explaining command names and the functions of commands of the personal computer and a retrieval part 1 which retrieves the stored specific document data. The document data in the specific document data part 3 are retrieved and displayed as data (command) to be retrieved is changed as long as a guide table area is displayed on the display screen of a display part 4. Consequently, an operator views the document data displayed in the guide display area to operate the personal computer without referring to its manuals or other general information manuals.



## ⑫ 公開特許公報(A) 平2-176968

⑤Int. Cl.<sup>3</sup>

G 06 F 15/22

識別記号

3 1 0

庁内整理番号

7165-5B

⑬公開 平成2年(1990)7月10日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑭発明の名称 簡易言語処理用パーソナルコンピュータ

⑯特 願 昭63-332100

⑰出 願 昭63(1988)12月28日

⑱発 明 者 加 藤 洋 一 千葉県千葉市真砂5丁目20番7号 ソード株式会社内

⑲出 願 人 ソード株式会社 千葉県千葉市真砂5丁目20番7号

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

簡易言語処理用パーソナルコンピュータ

## 2. 特許請求の範囲

パーソナルコンピュータにおけるコマンド名及びコマンドの機能を解説する特定文書データを格納する手段と、該格納された特定文書データ手段を検索する手段と、検索された特定文書データを表示する手段とを具備し、前記検索手段により検索される特定文書データを逐一前記表示手段に表示することを特徴とする簡易言語処理用パーソナルコンピュータ。

## 3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は画面上のプロンプト表示に従ってコマンドその他の符記号等を入力することにより画面上に表作成、表編集、計算などの処理結果を簡単に表示できる簡易言語用パーソナルコンピュータに関し、特に、

(従来技術及びその問題点)

画面上のプロンプト表示に従ってコマンドその他の符記号等を入力するだけで専門的なコンピュータの制御プログラム作成技術を習得しなくても、表作成、表編集、計算等の処理ができる簡易言語が普及し、今日に至っている。このような簡易言語の普及に伴って、簡易言語を利用する対象者も様々な分野に至っているのが現状であり、経理業務、特許管理、スケジュール管理、期間の管理、営業の実績、字業成績等の集計及び報告等に簡易言語により処理して提出されるに至っている。これらの集計及び報告等に際しては数値データの羅列ではなくグラフ、その他の図形を用いたものが視覚的に確認できることから望まれる傾向にあるとともに、数値データを表示した列のデータ内容を任意に並べ換え、置換又は抜き出しを簡単な操作で出来るように要望される傾向にある。

従来、パーソナルコンピュータは対話形式で、コマンドを入力し、上記業務において所望の処理を行っていたが、パーソナルコンピュータは多種多様の業務に使用されるに伴い、処理操作す

るための解説書・マニュアル等の数・種類が増加し、それらのボリュームも必然的に増加する傾向にある。本来、コンピュータによって処理するコマンドの数が、10個程度で十分な業務である場合にも、多数のコマンドを解説したマニュアルを調べてなければならないという不便さが依然としてあった。本来操作が簡単であるべき筈の簡易言語によるパーソナルコンピュータの操作であるにも拘わらず、現実にはパーソナルコンピュータを操作するためには数日間の教育実習が必要になるという問題があった。

#### (発明の目的)

本発明は、このような問題を解消するとともに、簡易言語によるパーソナルコンピュータの操作性を向上させ、簡便に操作できるパーソナルコンピュータを提供することを目的とし、特に簡易言語を用いた利用者が様々な分野に至り、画面に表示した所望の表形式の指定位置のデータの書き換えまたは消去を簡便に操作できる簡易言語処理装置を提供することを目的とする。

を索引するデータ部であり、特定文書データ部3の内容が一致したインデクスとリンクする特定文書データ部3の内容が表示部4へ表示される。

特定文書データ部3は、インデクスが付され、検索部1の検索対象データの内容を格納するメモリである。特定文書データ部3には、検索対象データ(コマンド)の内容及び機能を説明する文書データであり、表示部4へ特定文書データ部3の内容を表示することにより、オペレータは取り扱い説明書及びマニュアル等を使用しないで本発明に係るパーソナルコンピュータを簡便に操作できる。

表示部4は、CRT、LCDその他プラズマ等の表示装置であり、ビットマップ表示が可能であるとともに分割表示(マルチウィンドウ)が可能な表示装置であり、第3図に示すように表示部4はメニュー表示領域4a、対話形式で操作する場合のプロンプト表示領域4b、入力データ表示領域4cで基本的な表示画面を構成し、本発明に係る特定文書データ部3の内容は表示部4の上記領域以外のガイド表示領域4dに表示される。

#### (発明の概要)

本発明の構成を概説すると、本発明は、パーソナルコンピュータにおけるコマンド名及びコマンドの機能を解説する特定文書データを格納する手段と、該格納された特定文書データ手段を検索する手段と、検索された特定文書データを表示する手段とを具備し、前記検索手段により検索される特定文書データを逐一前記表示手段に表示することを特徴とする。

#### (実施例)

本発明の構成及び実施例を図面に基づいて説明する。第1図は本発明の構成を示すブロック図であり、第2図は本発明の動作を示すフローチャートであり、第3図は本発明に係る表示部の表示画面を示す図、図中1は検索部、2はインデクス部、3は特定文書データ部、4は表示部である。

検索部1は、インデクス部2を検索し、特定文書データ部3の内容を表示部4へ表示する検索処理装置である。

インデクス部2は特定文書データ部3のデータ

次に、本発明の動作例について第2図のフローチャートを参照して説明する。

(ステップ1)表示部4の画面にガイド表示領域4dを表示させる。

(ステップ2)検索対象データをカーソル又はデータ入力により特定指示する。

(ステップ3)ステップ2で特定指示された検索対象データ(コマンド)を認識する。

(ステップ4)検索対象データと一致するインデクスデータをインデクス部2から検索する。

(ステップ5)インデクス部2のインデクスデータと検索対象データが一致するか否かを判別する。

(ステップ6)一致する場合(Y E S)は、インデクスデータとリンクする特定文書データ部3の文書データを表示部4のガイド表示領域4dに表示する。

(ステップ7)検索対象データが変更した場合は、ステップ1の初期動作に戻り、順次同様の動作が実行され、表示部4のガイド表示領域4dへ表示される。

本発明は、表示部4の表示画面にガイド表示領域4dが表示されている限り、検索対象データ(コマンド)変わることに対応する特定文書データ部3の文書データが検索されて表示される。これによって、オペレータはガイド表示領域4dに表示される文書データを見ることにより、マニュアルその他の解説書を参照することなくパーソナルコンピュータを操作することができる。

次に、本発明の動作使用例を説明する。

(1)メニューバーにカーソルを合わせると、ガイド表示領域には、「[常用]」頻繁に使用する基本的な指令(コマンド)がまとめられています。ページの呼び出しや保存、印刷、各種表題のリスト、計算や集計…」が表示される。

(2)他方、キーボード(第1図参照)から英文字「G」(コマンド)を確定入力すると、ガイド表示領域4dには「[G]」画面に呼び出すページを指定します。

例)10…対象バインディングの10ページ目

\* …対象ページ

SORT データを並べ替える

CS 条件付検索をする

END マイルドPIPSを終了する

CM データメディアを変換する

BIND バインダーを管理する

INFO 表の情報を表示あるいは変更する

GUIDE 解説の一覧を表示する

以上のプルダウンメニューの中のいずれか例えば「SORT」にカーソル(第3図中プルダウン表示領域4eの長方形の枠参照)を合わせると、ガイド表示領域4dに「SORT」のガイド説明文が表示される。カーソルをプルダウン表示領域4eのなかで上下に移動させると逐一ガイド表示領域4dのガイド説明文がリンクして変更する。

本発明は、メニューバーに対応する数のガイド説明文書を特定文書データ部3に格納し、表示部4の表示画面にガイド表示領域4dが表示される限り、逐一検索部1、インデクス部2及び特定文書データ部3が動作して常時いずれかのコマンドのガイド説明文が表示される。

+ …対象ページの次のページ

- …対象ページの前のページ ▽

が表示され、「▽」は続きのガイド説明があることを意味し、NEXTキーを押すとガイド表示領域4d内でスクロールする。又「△」の表示は前にガイド説明があることを意味し、自由にスクロールできる。

(3)表示部4の画面上にプルダウン表示し、メニューバー表示領域4aの「常用」にカーソルを合わせると、「常用」に対応するコマンド群が、例えば次のようにプルダウンメニューとして表示される(第3図中符号4e参照)。

[常用]

G 保存データを画面に呼び出す

P 画面データを指定したページに保存する

L データを印刷する

L T 各種表題のリストを表示する

C A L 各種の計算をする

C R O S S クロスの集計

G R 簡易グラフを作成する

(発明の効果)

本発明は、以上の構成であるか、オペレータはマニュアルその他のパーソナルコンピュータの操作説明書を参照することなく、対話形式で画面に表示した表形式のデータの編集、加工等が簡便にできる効果を奏する。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の構成を示すブロック図であり、第2図は本発明の動作を示すフローチャートであり、第3図は本発明に係る表示部の表示画面を示す図である。

1…検索部 2…インデクス部

3…特定文書データ部 4…表示部

4a…メニューバー表示領域

4b…プロンプト表示領域

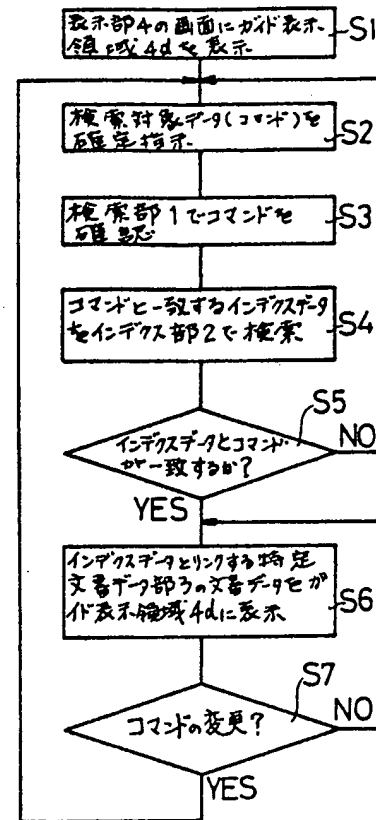
4c…入力データ表示領域

4d…ガイド表示領域

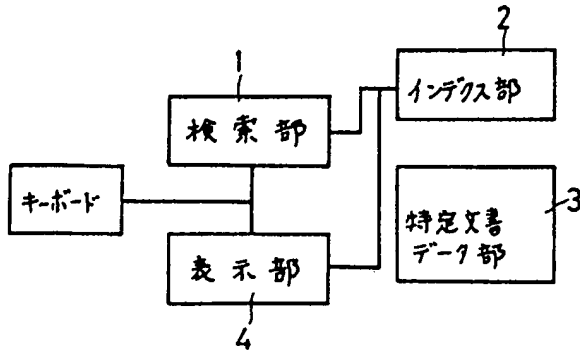
4e…プルダウン表示領域

特許出願人 ソード株式会社

第 2 図



第 1 図



第 3 図

